

## 環境「GD100」基本方針

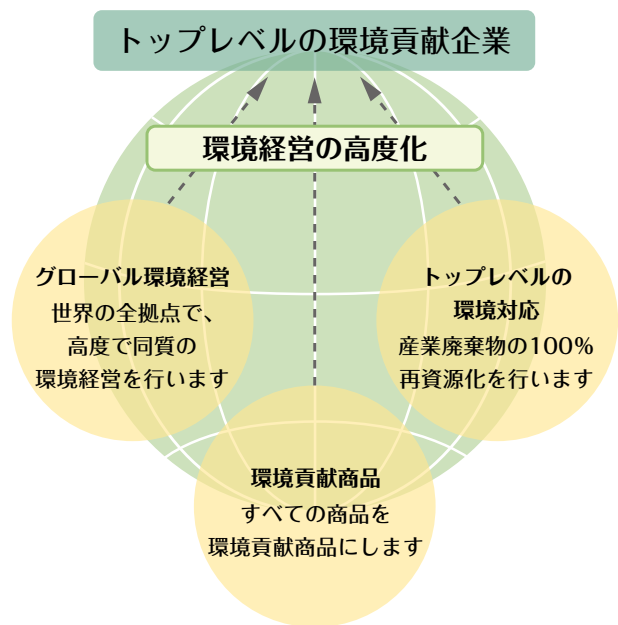
経営方針に示された「社会に対する公正さと、環境との調和を大切にする」を規範として、トップレベルの環境貢献企業になる

- 環境経営を持続的に改善します
- 地球温暖化防止に取り組みます
- 持続可能な循環型社会実現に貢献します

## 環境「GD100」行動指針

未来からの贈り物である子供たちとかけがえのない地球のために環境保護の行動をします

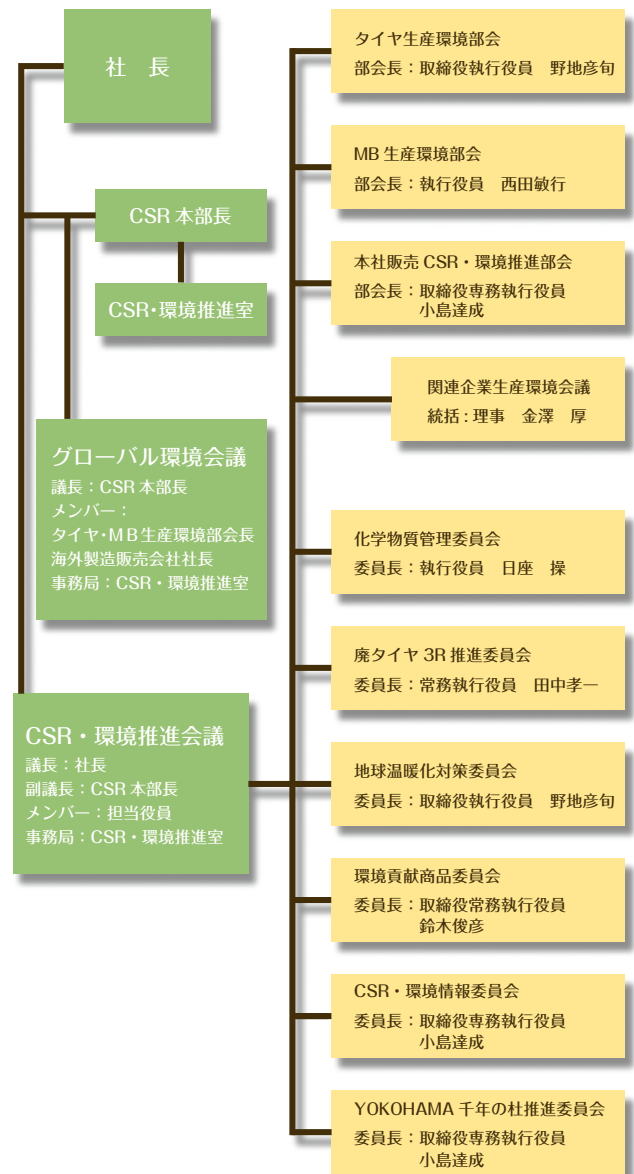
- グローバル環境経営を実践する  
世界の全拠点で、高度で同質の環境経営を行います
- モノづくりにより社会に貢献します  
すべての商品を「環境貢献商品」にする活動を実践します
- 「トップレベルの環境対応生産」を行い、社会的責任としての環境保護活動を実践します  
産業廃棄物の100%再資源化を行います
- 社会や地域との相互コミュニケーションに努めます



## 総合的な環境監査の実施

全社環境監査、外部監査（ISO14001）、内部監査（ISO14001）によって、事業所単位で環境経営、環境パフォーマンス向上、環境リスク極小化の継続的改善を監査しています。2007年度からは国内グループ販売会社の環境「GD100」ガイドラインに基づく自己評価点をCSR・環境推進室が確認しています。なお2008年度の全ての監査において環境法令違反指摘はありませんでした。

## CSR・環境経営推進体制（2009年6月現在）



## グローバル環境経営の強化

世界の全拠点で高度で同質の環境経営を行うことを目指し、2007年から海外全生産拠点の経営責任者を集めたグローバル環境会議を年1回開催しています。2008年は第2回目として開催し、海外生産拠点でのゼロエミッションを2011年までに達成することなどを決議しました。横浜ゴムグループでは、ISO14001の認証取得をグローバル環境経営の基本に置いています。2009年4月と5月に中国の山東横浜橡胶工業制品有限公司と横浜胶管配件（杭州）有限公司がそれぞれ認証を取得したことから、海外14拠点のうち12拠点が認証を取得しました。また2006年度から海外生産拠点での環境監査を実施しています。海外販売拠点についても2008年度から環境「GD100」ガイドラインに沿った環境経営の展開を開始しました。

## 環境教育・啓発の強化

新規採用者の教育課程に環境教育を組み込んでいるほか、入社2～3年の技術者を中心に環境教育「テクノカレッジ」を開催し、2008年度は25名が受講しました。

またISO14001への理解を深めるため、内部監査要員養成教育を実施し、2008年度の47名を含め、現在384名が内部監査員として活動しています。

環境啓発活動では毎年2月の省エネ月間、6月の環境月間に全従業員に向けた社長メッセージを実施しています。

## 環境貢献表彰制度で従業員意識を向上

横浜ゴムグループ全体の環境貢献活動に対する理解の浸透、行動の更なる促進を図るため、2006年11月に環境貢献表彰制度を制定しました。研究・開発・技術部門を対象とした「環境貢献プロダクツ賞」、生産系の事業所・会社を対象とした「環境貢献オフィス賞」、販売・管理系の事業所・会社を対象とした「環境貢献オフィス賞」の3部門に分かれ、

それぞれ優秀賞と努力賞を選定しています。第3回目に当たる2008年度は、国内外26件の応募の中から12部門・関連会社を表彰しました。

## 地域の皆さまとの相互理解促進

工場や事業所周辺地域の皆さまとの交流を深めるため、工場での懇談会開催、地域イベントへの参加を行っています。工場での懇談会は、2008年度は延べ93名の方が工場を訪問され、貴重なご意見を伺うことができました。一方地域イベントには、工場をはじめタイヤ販売会社も参加しています。

## 苦情への対応

2008年度は目標10件以下に対し、騒音7件、臭気6件、粉塵1件、その他1件で合計15件となり、大幅に目標未達の結果となりました。法規制値は順守していますが、地域住民の皆さまのご要望に応えるため、抜本的対策を計画しています。

